



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 駒田 達彦 TEL 03-3662-1638
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	62,127	4.4	3,475	103.4	3,751	74.9	8,024	215.4
2024年3月期中間期	59,512	△4.1	1,708	△4.7	2,144	△12.7	2,544	57.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 11,636百万円 (113.3%) 2024年3月期中間期 5,454百万円 (△14.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	467.67	—
2024年3月期中間期	140.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	199,127	129,259	63.7
2024年3月期	194,852	119,166	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 126,875百万円 2024年3月期 116,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00
2025年3月期	—	66.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 30円00銭
2025年3月期中間配当金の内訳 普通配当 51円00銭 特別配当 15円00銭
2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 51円00銭 特別配当 15円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	3.5	6,900	51.6	7,500	49.9	10,600	189.6	617.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名） 一、除外 1社（社名） ディー・エス・エフ株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	18,613,110株	2024年3月期	18,613,110株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,451,729株	2024年3月期	1,456,394株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	17,159,042株	2024年3月期中間期	18,047,909株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け決算説明会と個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。これらの説明会で使用する資料等については、各説明会の前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
日時：2024年12月5日（木） 15時～

・個人投資家向け決算説明会
日時：2025年1月16日（木） 20時～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の当社グループの主要な販売先動向は以下のとおりとなりました。

- ・ 輸送機器業界

自動車向けコンパウンド・着色剤・ウレタン樹脂は、国内は自動車メーカー減産の影響により低調、海外は、中国向けが低調も北米向けが好調に推移

- ・ 情報電子業界

液晶ディスプレイ向けは、顔料が上期後半以降低調に推移もコーティング剤は好調に推移、オフィス事務機器向け顔料及び着色剤が堅調に推移

- ・ 包装・パッケージ業界

食料品用途等の軟包装向けグラビアインキは流通在庫の解消により堅調に推移、需要期によりペットボトル飲料ラベル向けが堅調に推移

- ・ 建材業界

新築需要向けの着色剤・コーティング剤は低調も、リフォーム用途の着色剤は堅調に推移

以上の結果、売上高は621億2千7百万円（前年同期比4.4%増）と増収になりました。営業利益は、海外法人が好調に推移したこと及び新工場移転完了による拠点統合効果等により、34億7千5百万円（同103.4%増）、経常利益は37億5千1百万円（同74.9%増）とそれぞれ増益になりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、特別利益に旧川口製造事業所跡地等の固定資産売却益77億6千万円を計上したことなどにより80億2千4百万円（同215.4%増）と増益になりました。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当セグメントでは、顔料及び顔料の2次加工品を中心に、顔料・繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、樹脂コンパウンド、顔料分散体、機能性材料の製造・販売を行っています。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、液晶ディスプレイ用途は低調、オフィス事務機器用途は堅調に推移しました。輸送機器業界向けのコンパウンド・着色剤は、国内は自動車メーカーの減産により低調に推移しました。海外は、中国現地法人の家電OA機器向けのコンパウンド・着色剤が低調に推移しましたが、タイ・インド現地法人の食品包材・自動車向けコンパウンドが好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、334億9千8百万円（同3.6%増）と増収になり、営業利益は15億1百万円（同102.3%増）と増益になりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当セグメントでは、合成樹脂及び特殊コーティング剤を中心に、ウレタン樹脂、天然物由来高分子、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っています。

ウレタン樹脂の売上高は、輸送機器業界向けは、北米向けは好調も中国向けは低調に推移、産業資材向けの感熱記録用コーティング剤は在庫調整完了により堅調に推移しました。情報電子業界向けのコーティング剤は、好調に推移しました。

海外は、中国現地法人の衣料品・服飾品業界向けや米国現地法人の自動車向けが好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、125億7千4百万円（同5.5%増）と増収になり、営業利益は16億8千4百万円（同26.8%増）と増益になりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当セグメントでは、パッケージ用及び広告出版用インキを中心に、各種用途に対応した幅広い種類のグラビア・フレキソインキ、オフセットインキの開発、製造及び販売を行っています。

包装業界向けのグラビアインキは、食料品用途等の軟包装向けがサプライチェーン上の在庫調整が完了し堅調に推移、また、需要期である飲料ラベル用途も堅調に推移しました。海外では、インドネシア現地法人において販売価格の改定が進み増収となりました。オフセットインキは、需要減少により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は160億2千6百万円（同5.3%増）と増収になり、営業損益は、新工場移転完了による拠点統合効果及び海外子会社における販売価格の改定等により損益改善が進み2億9千1百万円（前年同期は3億4千8百万円の営業損失）と黒字転換しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,991億2千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ42億7千5百万円増加しました。これは主に「現金及び預金」が増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は698億6千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ58億1千7百万円減少しました。これは主に有利子負債が減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,292億5千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ100億9千2百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」及び「為替換算調整勘定」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、化学業界において川中に位置し、輸送機器、情報電子、包装・パッケージ、建材等の多様な業界に製品供給しております。

各業界別の見通しは以下のとおりです。

・輸送機器業界

自動車向けのコンパウンド・着色剤・ウレタン樹脂は、サプライチェーン上の在庫調整完了により徐々に回復する見込みです。

・情報電子業界

液晶ディスプレイ向けの顔料は、サプライチェーン上の在庫調整により低調に推移するものの、インクジェット向け顔料及び分散液は堅調に推移する見込みです。

・包装・パッケージ業界

軟包装向けグラビアインキは、飲料ラベル向けインキの需要期は過ぎましたが、引き続き堅調に推移する見込みです。

・建材業界

新築需要は引き続き低迷する一方、リフォーム需要は堅調に推移する見通しです。

上記の見通しを踏まえ、2024年8月7日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

2025年3月期連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	123,300	6,000	6,600	10,600	617.84
今回修正予想 (B)	124,000	6,900	7,500	10,600	617.67
増減額 (B-A)	700	900	900	-	-
増減率 (%)	0.6	15.0	13.6	-	-
(参考) 前期連結実績 (2024年3月期)	119,824	4,550	5,003	3,660	207.95

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,579	27,259
受取手形及び売掛金	53,223	51,882
棚卸資産	31,609	32,059
その他	1,300	1,649
貸倒引当金	△88	△99
流動資産合計	109,625	112,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,344	20,150
土地	13,745	13,174
その他(純額)	13,753	15,245
有形固定資産合計	47,843	48,570
無形固定資産		
その他	1,175	1,209
無形固定資産合計	1,175	1,209
投資その他の資産		
投資有価証券	18,778	19,111
退職給付に係る資産	14,100	14,297
その他	3,346	3,202
貸倒引当金	△17	△14
投資その他の資産合計	36,207	36,596
固定資産合計	85,227	86,376
資産合計	194,852	199,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,963	27,435
短期借入金	11,686	10,541
1年内返済予定の長期借入金	3,936	3,537
未払法人税等	954	2,200
賞与引当金	1,799	1,957
その他	8,757	5,219
流動負債合計	56,097	50,890
固定負債		
長期借入金	9,316	7,557
退職給付に係る負債	7,035	7,207
繰延税金負債	2,524	3,571
その他	710	640
固定負債合計	19,587	18,977
負債合計	75,685	69,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,768	9,774
利益剰余金	84,023	90,847
自己株式	△3,130	△3,120
株主資本合計	100,701	107,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,044	7,169
為替換算調整勘定	5,399	8,716
退職給付に係る調整累計額	3,601	3,447
その他の包括利益累計額合計	16,046	19,334
非支配株主持分	2,418	2,384
純資産合計	119,166	129,259
負債純資産合計	194,852	199,127

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	59,512	62,127
売上原価	48,988	49,620
売上総利益	10,523	12,507
販売費及び一般管理費	8,814	9,032
営業利益	1,708	3,475
営業外収益		
受取利息	108	234
受取配当金	213	216
持分法による投資利益	—	42
為替差益	257	—
その他	340	406
営業外収益合計	921	898
営業外費用		
支払利息	138	124
持分法による投資損失	257	—
為替差損	—	207
固定資産賃貸費用	29	32
クレーム弁償損	6	196
その他	52	60
営業外費用合計	485	622
経常利益	2,144	3,751
特別利益		
固定資産売却益	1	7,760
投資有価証券売却益	1,559	68
特別利益合計	1,561	7,829
特別損失		
固定資産除却損	37	83
投資有価証券売却損	0	29
工場閉鎖損失	—	79
その他	6	1
特別損失合計	44	194
税金等調整前中間純利益	3,661	11,386
法人税、住民税及び事業税	968	2,245
法人税等調整額	100	1,035
法人税等合計	1,068	3,280
中間純利益	2,593	8,106
非支配株主に帰属する中間純利益	49	81
親会社株主に帰属する中間純利益	2,544	8,024

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,593	8,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	124
為替換算調整勘定	2,723	3,278
退職給付に係る調整額	△116	△154
持分法適用会社に対する持分相当額	163	281
その他の包括利益合計	2,860	3,529
中間包括利益	5,454	11,636
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,238	11,312
非支配株主に係る中間包括利益	215	324

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年同期の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	32,344	11,919	15,218	59,483	29	59,512
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	201	—	254	(254)	—
計	32,398	12,121	15,218	59,737	(225)	59,512
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	742	1,328	△348	1,721	△13	1,708

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	25,315	8,186	11,178	44,680	29	44,710
アジア	5,648	2,267	3,824	11,739	—	11,739
その他	1,380	1,465	215	3,062	—	3,062
計	32,344	11,919	15,218	59,483	29	59,512
顧客との契約から 生じる収益	32,344	11,919	15,218	59,483	21	59,504
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への売上高	32,344	11,919	15,218	59,483	29	59,512

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	52,086	11,953	15,221	79,260	29	79,290
有償受給取引による 売上相殺額	△19,741	△33	△3	△19,777	—	△19,777
外部顧客への売上高 (純額)	32,344	11,919	15,218	59,483	29	59,512

II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	218	136	408	(408)	—
計	33,550	12,793	16,163	62,507	(379)	62,127
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,501	1,684	291	3,477	△2	3,475

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借及び損害保険代理業その他の保険媒介代理業などであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	25,666	8,189	11,471	45,327	28	45,356
アジア	5,949	2,760	4,183	12,893	—	12,893
その他	1,881	1,624	372	3,877	—	3,877
計	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127
顧客との契約から 生じる収益	33,498	12,574	16,026	62,099	20	62,120
その他の収益	—	—	—	—	7	7
外部顧客への売上高	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	53,139	12,607	16,028	81,775	28	81,804
有償受給取引による 売上相殺額	△19,641	△32	△1	△19,676	—	△19,676
外部顧客への売上高 (純額)	33,498	12,574	16,026	62,099	28	62,127

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。